

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 イザヤ書 60:1~2	讃 美 歌 103 まきびとひつじを
讃 美 歌 28 わがたま、たたえよ	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 イザヤ書 45:3	主の祈り 564
ルカによる福音書 2:8~12	頌 栄 541 父、み子、みたまの
讃 美 歌 II-128 世のひと忘るな	祝 禱
説 教 『聞き、見、知らせ、賛美する』	後 奏

「彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである(ルカ2:6~7)」。ヨセフ一族の町ベツレヘムで親類縁者の誰も泊めてくれないのは怪しい。「聖霊によって身ごもった(1:35)」ふしだらな女マリアを嫁にした、ヨセフへの制裁なのだろう。ただ家畜小屋に宿るくらいは、見て見ぬふりをした。

天使は深夜、野宿する貧しい羊飼いの所にまばゆい光を伴って現れ(2:9)、こう告げた。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである(2:10~11)」。降誕に際しての天使の「恐れるな」という言葉、これまでに幾度も聞いた。洗礼者ヨハネの父となるザカリアに(1:13)、イエスの母となるマリアに(1:30)、父となるヨセフに(マタイ1:20)。「恐れるな」はそれほど重要、不可欠な一撃なのだろう。

降誕はあまりに荒唐無稽で、不可解すぎて人は恐れて自分の殻に閉じこもる。だが「恐れるな」の言葉を聞く者は皆、自分の殻を破り、神からの使命を大胆に引き受ける。「恐れるな」の言葉で殻が壊された者は自ずと行動する。羊飼いらは全財産の羊を危険な夜の野に残したまま、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか(2:15)」と即座に走り出した(2:16)。

「暗闇に置かれた宝、隠された富をあなたに与える。あなたは知るようになる、わたしは主、あなたの名を呼ぶ者、イスラエルの神である、と(イザヤ45:3)」。私たちの名を呼ぶほど共にいて下さる神。その神こそがまことの富。神である宝は、暗闇に置かれ、隠されており、凝視しなければ見えない。

降誕、つまり「インマヌエル、神が我々と共におられる(マタイ2:23)」まことの富は、見ようとしなければ見えず、聞こうとしなければ聞こえない「暗闇」に到来した。神の子は、聞こうとしなければ聞かずに済んでしまう方として世にやって来られた。メリークリスマス、と喜び祝うような場ではない。

「あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中にある乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである(ルカ2:12)」。飼葉桶で布にくるまっている乳飲み子という「しるし」は、何を語っているのか。貧しい羊飼いらが見つける「しるし」は、いったい何を表しているのか。

ニーチェは奴隷根性のキリスト教徒を嫌悪して「畜群」と呼んだ。なるほど半分は当たっている。権威が幅を利かせている教会では、自分で判断せず責任を負わない奴隷が生ずる。ところが奴隷のような「低み」にあつてこそ、神の声を聞く耳と、降誕の「しるし」を見つける目が現れる。降誕は、人が自分の「低み」において、「恐れるな」の声を聞き、自分で決断し、行動する救い。そして自ら暗い夜を走り(2:16)、奴隷のように虐げられている者(2:7)の中に、救いの「しるし」を探し当てる。

羊飼いは飼葉桶に眠る「救いのしるし」を探し当て(2:16)、「人々に知らせた(2:17)」。人々はそれを「不思議に思い(2:18)」、マリアは「すべて心に納めて、思い巡らしていた(2:19)」。同じ不可解でも、人々とマリアではまるで違う。そりゃそうだ、マリアは一番の当事者だから。私たちは羊飼いらのような当事者になりたい。「恐れるな」の声を聞き、「しるし」を見、人々に知らせ、賛美するような(2:20)。

「恐れるな」の声を聞き 己が殻が壊れてからでなければ 決断できない 夜の野を走る事もない  
 声がしてこの耳を得た しるしを探し当ててこの目を得た 降誕が起る 貧しさという空っぽの力  
 次主日 12/21 は降誕祭礼拝、聖餐式をします。礼拝後はささやかな祝会。12/17(水)1:00~3:00 教会カフェ(1:30~2:00 聖書のおはなし)。12/20(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。